

TVのCMを中級日本語に取り入れる一案

Effective Use of TV Commercial in Intermediate Level Japanese

小沢和子 (ウェルズリー大学) Kazuko Ozawa (Wellesley College)

1. はじめに

日本語三年生というのは、所謂、中級日本語で、初級から上級へ向かう「橋」としての役割をする。それを念頭に Wellesley 大学日本語三年生では教科書の「中級の日本語」(注1)と、映画やアニメ、小説、新聞、雑誌、TVドラマ、CM、慣用句やことわざなどの生教材(注2)を組み合わせて授業を進めている。生教材を使う狙いは、教科書で習った文法や語彙がそれらの中で応用され生かされていることの確認と、文法や語彙を会話やエッセイの中に取り入れ、母語話者のような自然な表現に近づくためである。今回はこれら生教材の中からTVのコマーシャルを使った教材を紹介したい。

2. 教材としてのCM

TVのコマーシャルは、その特徴として(1)映像時間が短い(2)メッセージが分かり易い、ことがあげられる。これは日本語の教材としては好都合で、これまでも多くの日本語教師が様々な形で教材として取り上げてきた。私は、このTVコマーシャルを使って、学生に「状況を人に説明し、一人で最初から最後まで話をする」という課題を与え練習に取り組んだ。

3. 教材準備

- 1 Youtube などからCM映像を探して、ダウンロード(注3)する。

この時、a.筋の分かり易い映像を選ぶことで、メッセージが明確であれば必ずしも映像の中で日本語

が語られる必要はない b.ダウンロードした映像は、imovieなどを使って、PPTに取り込む。
c.動画と同時に静止画像も数枚用意する。

- 2 CM映像の状況説明を念頭に、使えそうな文法パターンを考える。この時、学生に選択肢を与えるために文法項目は多めに用意する。また、場合によっては、接続語も選択肢の中に入れる。

- 3 必要であれば、語彙リストを用意する。

4 CM映像を学生に見せて、何をするかを指示を出す。準備に時間的余裕を持たせるために、映像は授業外にオンラインで見られるようにする。また、話を展開させやすいように、静止画像を数枚

学生に見せておくことが重要。

- 5 状況説明を発表、または書いた物を提出、あるいは、試験として時間内に書かせる。

4. 教材例1

映像：サントリーオールドCM

文法：ようだ／わけではない／わけにはいかない／Nとして／そうかといって

語彙：べんとう屋：boxed lunch shop 飽きる(あきる)：be tired of~

教師から学生への指示：

写真を見て、女の人の気持ちになって日本語で説明しなさい。

Suppose you are the middle aged woman who is working at the boxed lunch shop.

Write what happened today at the shop. Describe your feelings.

説明の中で(ようだ／わけではない／わけにはいかない／Nとして／そうかといって)の文法を3つ使いなさい。



学生の回答例：

学生 A

いつもと2毛ハンサムなおいしやさんが私のべんとうやに来る。今日私は「あ、いつも同じべんとうを買うようですね。つまり同じでしょう」と言っただけから、おいしやさんは「べんとうだけじゃないから」と言った。私は「はい、はい、はい」と、ほかの男に気がつかないわけではない。そうかと言って、ほかの男とつきあうわけにはいかなかった。

学生 B

今日は仕事をしていた時、かねしろたけしのようなわかいおいしやさんが来た。おいしやさんはいそべんとうを食べて、私は「毎日うちのおひるじゃあはちやうでしょう」と言った。でも、おいしやさんは「べんとうだけじゃないから」と言っただけで、私がびっくりした。このおいしやさんは十七年下の人じゃないの。私はふるすぎると思った。そうかと言って、おいしやさんが私に好きじゃないわけではなかった。うちに帰っていた時、気持ちがおかしくなってきた。

5. 教材例 2

映像：大洋薬品 CM

文法：ために／さえ…ば／はず／V ばいいのに

語彙： _____

教師から学生への指示：

これは、ひろし君とお母さんの話です。ひろし君になって日本語で説明しなさい。
(ために／さえ…ば／はず／V ばいいのに) の中から3つ文法を使いなさい。



7. 学生の回答を見ての所感

教材例1は、弁当を毎日買いに来る若い医師と、弁当屋の年上の店員とのほのかな恋心を表したCMである。学生A、Bともに内容も中で話される会話もよく理解している。指示文法の使い方を見ると、A、Bともに「わけではない」の用い方に不自然さが見られる。その他の助詞や文のつながり方は、Bの方がAに比べやや問題点が多いが、Bは、年上の女性の心理描写をより詳しく書こうとしており、そのぶん、全体に長い説明となっている。これは大いに評価したいところである。表記については、「医者」「主人」「お昼」など日本語三年生のレベルとしてはもう少し漢字を使うように指導したいと思う。

教材例2は、入院中の母が、小学生の息子の素朴な気持ちに励まされ、早く息子のもとに帰ってやりたいと願う母子の愛が描かれたCMで、バックグラウンドに歌が流れるだけで日本語が一言も語られていない。学生C、DともにCMで表されたドラマを理解するのに問題はない。指定文法については、それぞれ違った箇所ですら自然に取り入れて表現しているのが興味深いと思う。学生Cは、助詞やその他の文法もほとんど間違いなく、自然な流れで表現している。しかしながら、言葉遣いが一般的で少年の視点からという印象は感じられない。これに比べ、Dは少年になりきって、その心理を生々しく表している。文法的には問題箇所がいくつか見られるが、創造力を生かした具体的な状況描写で人をひきつける。教材1と同様、具体的な描写になると必然的に説明が長くなるのが分かる。

8. 結果

上記の教材は、いずれも2009-2010年の日本語3年生の授業で10人程度の学生に実施した。その結果、教師として以下の発見があった。

a. 文法の使用箇所が固定されないので、学生が脈絡を考えて文中に入れることが必要となり、文法の応用

学習として非常に効果的であった。

b. 登場人物の心理状態や社会的背景など学生個人の創造力が発揮できた。

c. 作業は宿題として教室外で行うため、教師には時間の節約、学生には時間的余裕をもって取り組める点で、

双方に好都合だった。

d. 教室や教科書から出て、日本社会や日本語が勉強できる生きた教材となり学生の取り組みも真剣であった。

9. 問題点と今後の課題

最後に、この教材作りの問題点と、今後について考えてみた。

a. 数多いコマーシャル映像の中から、教材として適当なものを探し出すまでには時間がかかる。

b. 日米では文化的背景が違うため、日本のCMのメッセージが米国の学生に伝わりにくいことがある。そこで、状況説明や登場人物になって話を展開させる場合は、学生の視点にたって、メッセージが伝わりやすいCMを選ぶことが大切である。

c. 本教材は日本語中級用に用意したが、指示や目的を変えることで、初級や上級用の教材として応用することも可能であろう。

10. おわりに

30秒程度の短いCM映像が、日本語教育の教材として有効に活用できたことは実に幸いなことであった。また映像だけでなく静止画像との組み合わせが、学習者の発話や表記に有効であることも確認できた。私は映画やアニメを授業で取り上げる時もこの手法を使っている。学生たちに宿題としてこうした映像を見せることで必然的に彼らの日本語との関わりの時間が増えるわけであるが、「状況を一人で説明する」という課題によって、受動的から能動的に映像を見る立場に変わり、それが彼らの日本語力を向上させたと思う。学生達は先ずCM映像を楽しみ、次に苦勞しつつも教室で学習したことを応用しながら課題に取り組み、徐々に自身の日本語力を伸ばしていった。このことは、私自身にとっても大きな喜びであり励みとなった。

注

- (1) 三浦昭+マグローイン花岡直美著「中級の日本語（改訂版）」The Japan Times
- (2) 「Shall We ダンス」(movie)「おもひでぼろぼろ」(animation)「我が輩は猫である」(夏目漱石小説抜粋)「蜘蛛の糸」(芥川龍之介)「キッチン」(吉本ばなな小説抜粋)「盗んだ書類」「愛の鍵」(星新一)「津田梅子」「記念写真」(赤川次郎)「金八先生」(TV ドラマ,部分使用) etc.
- (3) KEEPVID (<http://keepvid.com/>)